



# あおぎり

須坂市立森上小学校  
学校だより  
H30.7.17 NO.4

## 1学期も残いわずか

1学期の登校日数は75日間です。なかなか長さではありませんが、その1学期もあと1週間ほどで終わりとなります。

今年度、森上小学校では「あいさつ」「そうじ」「歌声づくり」の3つの重点目標を掲げ、多用な日々の中ではありますが、少しずつ具体的な取組として形になってきました(しかし、その成果は、というと……今しばらくお待ち下さい。じわりじわりと効いてくるはず)。



毎月1日。児童会のメンバーが校舎外に飛び出しての「あいさつ運動」が始まりました。



6年生のお姉さんに教わりながら昇降口のおそうじをする1年生。

「そうじ」では、なかよし学級でのペア清掃も行われ、上級生が下級生の良い手本となり、集中してそうじを行う姿がこちらこちらで見られました。そして、この体験を生かして、自分のクラスに戻っても、無言で掃除を行う子どもたちが少しずつ増えてきたように思えます。

また、「歌声づくり」の取組としては、毎朝、学級で歌を歌うことや、音楽集会の行き帰りに歌



歌声をつくるために、先生たちも手本となって一生懸命歌います。

を歌いながら入退場をする、などの取組も行っています。学校の至る所で「歌声が響く学校」になるように継続して取り組んで参りたいと思います。

## ありがとうございました



1学期を振り返ってみると、入学式・始業式に始まり、あっという間の日々でありました。さまざまな場面での子どもたちのがんばりはもとより、それをいつも支え、見守っていたいている保護者や、地域の皆様のお力添えを、いつもいつも、しみじみ感じております、

安心した学校生活を送れるのも、安心できる家庭や地域があってこそ。**7月25日(水)～8月20日(月)まで夏休み**となりますが、引き続き子どもたちのことよろしくお願い致します。

# 森上の子を考える会から

6月27日「森上の子を考える会」が行われました。ご多用の中お集まりいただいたメンバーは「コミュニティスクール運営委員様・区長様・主任児童委員様・民生児童委員様・育成委員様・PTA役員様」です。この会は、昨年度より「森上コミュニティ」の拡大委員会として位置づけられ、主に子どもたちの安全面についての情報交換やご意見を伺う機会とさせていただいております。



活発な意見交換の中に「子どもは地域の宝」という気概をととても感じることができました。これからは様々な場面でお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

《会の中で話題になったことに関連して》

○**自転車の保険加入について**（万が一のリスクを考え、罰則はなくても自転車保険には加入しておいた方が良いのでは）2018年現在罰則規定はない。加入を義務付けられている地域で自転車を利用する人が自転車保険に加入していない場合でも、2018年現在罰則はない。理由として、個人の加入状況を各自治体が把握することが難しいことが挙げられる。しかし、大きな自転車事故を起こした際には、多額の賠償金が発生している実態がある）

○**ヘルメットの基準**（安全基準をクリアしたヘルメットを正しくかぶって欲しい）消費生活用製品の安全性を認証する制度。対象製品ごとに基準（SG基準）が定められており、基準に適合していると認証された製品に対して、SGマークが表示されている。

○**自転車のベル**（自転車の運転中、歩行者に対する注意喚起の目的でベルを鳴らす機会を見かけるが、法律の解釈上はこれも交通違反に該当する可能性がある。13歳未満は歩道を通行できるが、その際も、あくまでも歩道は歩行者優先であることを忘れずに。もし、自転車で抜くようなときは「すみません。通ります」などの声がけをし、ベルは使用しないで欲しい）

○**「子どもを守る安心の家」とは**（子どもが「誘拐や暴力、痴漢」など何らかの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めたとき、その子どもを保護するとともに、警察、学校などへ連絡をするなどして、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていくボランティア活動である）

この他にも①担任はどのあたりから1人での下校になるのか把握を②「おかえり」と言われたらどのようにこたえたら良いのか③信号のない道での横断の仕方④不審者に遭ったときの対応⑤公共施設の使い方⑥道路への飛び出し⑦安心の家の使い方なども話題となりました。これらにつきましても、各担任より折りを見ながら丁寧に指導を行って行くように致します。貴重なご意見をありがとうございました。

須坂市立森上小学校  
校長 田中 菜穂子  
電話 245-0236



この2つの写真。右側は、廊下に並べられた子どもたちのサンダルです。線にぴったりかかとが揃って並べてあります。左の写真は、参観日の保護者の方々の靴です。こちらも下駄箱にきちんと揃えて並んでいます。教頭先生がこの「良き行いの伝承」に気づいてくれて、写真を撮ってくれました。「子は親の鏡」良き姿を見せていただきました。